

各麓近くの主要拠点からのアクセス

鹿児島城跡	JR鹿児島中央駅から国道10号線経由 車で約10分	高速バス ● 鹿児島空港～天文館バス停(徒歩)～鹿児島城跡(約65分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC～鹿児島北IC～鹿児島城跡(約55分) ● 鹿児島中央駅～鹿児島城跡(約10分) バ ● 鹿児島中央駅バス停～市役所前バス停(徒歩)～鹿児島城跡(約20分)
喜入旧麓	JR喜入駅から南方神社方面へ 車で約5分	高速バス→電車 ● 鹿児島空港～鹿児島中央駅(指宿枕崎線)～喜入駅(徒歩)～喜入旧麓(約110分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC～谷山IC～喜入旧麓(約80分) ● 鹿児島中央駅～喜入旧麓(約50分) バ ● 鹿児島中央駅バス停(鹿児島交通山川棧橋行)～喜入バス停(徒歩)～喜入旧麓(約100分)
知覧麓	南九州市役所から県道232線経由 徒歩で約3分	バ ● 鹿児島空港(空港高速バス)～鹿児島中央駅(鹿児島交通バス・知覧行)～武家屋敷入口バス停(約120分) 車 ● 鹿児島中央駅(鹿児島交通バス・知覧行)～武家屋敷入口バス停(約80分) ● 満辺鹿児島空港IC～知覧IC～知覧中心部(約75分)
加世田麓	南さつま市役所から国道270号線経由 車で約5分	高速バス ● 鹿児島空港～加世田バスセンター(約75分) ● 鹿児島中央駅(新幹線リレー号)～加世田バスセンター(約60分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC～谷山IC～加世田麓(約75分) ● 鹿児島中央駅～加世田麓(約60分)
入来麓	JR川内駅から県道42号線経由 車で約25分	バ ● 鹿児島空港～入来中～徒歩(約60分) ● 川内駅(路線バス・入来鉄道記念館前行)～入来バス停(約30分) 車 ● 鹿児島空港～入来麓(約50分) ● 川内駅～入来麓(約25分)
里麓	川内港から高速船で上飯島・里港下船 徒歩で約10分	バス→高速船 ● 鹿児島空港(空港バス)～川内駅～川内港ターミナル～里港(約150分) ● 川内駅～川内港ターミナル～里港(約75分) バス→フェリー ● 鹿児島空港(空港バス)～川内駅～串木野新港～里港(約210分) ● 川内駅～串木野新港～里港(約110分) 車→フェリー ● 満辺鹿児島空港IC～串木野IC～串木野新港～里港(約135分) ● 川内駅～串木野新港～里港(約110分)
手打麓	川内港から高速船で下飯島・長浜港下船 車で約20分	バス→高速船 ● 鹿児島空港(空港バス)～川内駅～川内港ターミナル～長浜港(バス)～手打麓(約220分) ● 川内駅(バス)～川内港ターミナル～長浜港(バス)～手打麓(約120分) バス→フェリー ● 鹿児島空港(空港バス)～川内駅～串木野新港～長浜港(バス)～手打麓(約340分) ● 川内駅(バス)～串木野新港～長浜港(バス)～手打麓(約240分) 車→フェリー ● 満辺鹿児島空港IC～串木野IC～串木野新港～長浜港～手打麓(約260分) ● 川内駅～串木野新港～長浜港～手打麓(約225分)
出水麓	JR出水駅から県道373号線経由 車で約6分	バ ● 出水駅～出水麓(約5分) ● 鹿児島空港～出水麓(約80分) 車 ● 出水駅(いずみふれあいバス出水循環便)～上町(約5分) ● 出水駅(いずみふれあいバス折尾野・太田原便)～出水小学校前(約5分) 高速バス ● 鹿児島空港～出水本町(約80分) 観光バス ● 出水駅～ツル観音センター～出水麓武家屋敷群～出水駅 ※12月1日～2月末まで運行(1周約1時間)
串木野麓	JR串木野駅から県道39号線経由 車で約5分	バス→鉄道 ● 鹿児島空港(連絡バス鹿児島空港線)～鹿児島中央駅～串木野駅(路線バス・冠岳・野下線)～串木野IC入口(約80分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC→串木野IC→串木野麓(約55分) ● 川内駅～薩摩川内都IC～串木野IC～串木野麓(約15分) 鉄道→バス ● 鹿児島中央駅～串木野駅(路線バス・冠岳・野下線)～串木野IC入口(約55分)
蒲生麓	始良ICから県道57号線、県道25号線経由 車で約12分	バ ● 鹿児島空港(高速バス)～蒲生支所前(約30分) ● 鹿児島中央駅～蒲生支所前(約60分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC～始良IC～蒲生麓(約30分) ● 鹿児島中央駅～蒲生麓(約35分)
垂水麓	垂水フェリー・垂水港から国道220号線経由 車で約10分	バ ● 鹿児島空港～垂水中央(約150分) ● 鹿児島中央駅(バス)～鴨池港(フェリー)～垂水新港(バス)～垂水中央(約100分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC～園分IC～垂水市(約70分) ● 鹿児島中央駅～鴨池港(フェリー)～垂水新港～垂水中央(約80分)
志布志麓	志布志港から県道499号線経由 車で約10分	バ ● 鹿児島空港～志布志麓(約110分) ● 鹿児島中央駅～志布志麓(約150分) 車 ● 満辺鹿児島空港IC～曾於弥五郎IC～志布志麓(約90分) ● 鹿児島中央駅～曾於弥五郎IC～志布志麓(約100分) ● 宮崎駅～都城IC～志布志麓(約90分) 鉄道 ● 宮崎駅(日南線)～志布志駅(約160分) フェリー ● 大阪南港～志布志港(約14時間)

日本遺産「薩摩の武士が生きた町」をめぐるスタンプラリー

薩摩十二麓

～すべての麓を制覇せよ2021～

開催期間

2021年
7月24日(土)～
2021年
10月31日(日)

同時開催
フォトコンテスト

詳しくはチラシを確認 ▶



PDF

POSTCARD

63円切手をお貼りください

8 9 2 0 8 2 1

鹿児島県鹿児島市名山町3-9

薩摩十二麓～すべての麓を制覇せよ 2021～
スタンプラリー事務局 行
〈NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会内〉

ご住所	〒	
	
	TEL	- -
お名前	フリガナ	年齢 歳



スタンプを集めてご希望の賞品に○をつけて切手を貼って投函ください。

賞名	石高	賞品	ご希望の賞品に○をつけてください
御楼門賞	七十七万石	A.鹿児島黒牛サーロインステーキ B.極上麓セット(特産品詰め合わせ)	<input type="checkbox"/>
唐御門賞	五十五万石	A.黒豚角煮まんじゅう B.特上麓セット(特産品詰め合わせ)	<input type="checkbox"/>
御反屋門賞	四十万石	A.さつまあげセット B.麓セット(特産品詰め合わせ)	<input type="checkbox"/>
武家門賞	二十五万石	かごんまのお茶	<input type="checkbox"/>

注意事項

- ・応募ハガキにご住所、お名前、電話番号、ご年齢を記入の上、63円切手を貼ってポストに投函ください。
- ・応募の際、はがき表面のご希望の賞品欄に○印をご記載ください。
- ・ご希望の賞品欄に○印のご記載がない場合は任意とさせていただきます。
- ・缶バッジをご希望の方は、パンフレットのスタンプをスタンプ設置箇所のスタッフにお見せください。
(缶バッジはスタンプ三個以上から配布いたします。)
- ・スタンプ設置箇所では密にならないように、距離を取っていただくようお願いいたします。
- ・賞品の当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- ・お送りいただきました個人情報は当スタンプラリーのためのみに使用し、厳重に管理の上、スタンプラリー終了後は破棄いたします。
- ・スタンプラリーにつきましてのご意見、ご質問は下記までお願いします。

お問い合わせ先

NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会
鹿児島県鹿児島市名山町3-9
TEL:099-227-5343



主催:日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会

日本遺産の麓をめぐる「七十七万石」を目指そう!

薩摩十二麓

日本遺産「薩摩の武士が生活した町」をめぐるスタンプラリー

鹿児島県内の「十二の麓」をめぐるスタンプラリーです。それぞれの麓は入門、初級、中級、上級に分かれていて、スタンプを押すことで入門は三万石、初級は六万石、中級は九万石、上級は十一万石が手に入ります。すべての麓を制覇すれば、薩摩藩七十七万石と同じ「七十七万石」が集まります。集まった石高に応じて賞品に応募できます。このチャンスに「七十七万石」を目指して十二の麓を制覇してください。

攻略!
麓スポットは
全部で12箇所

応募締切 / 2021年10月31日(当日消印有効)
当選発表 / 2021年12月31日までの賞品発送をもって発表に代えさせていただきます。

応募方法

パンフレット最終ページについているハガキに、鹿児島県内の十二の麓に置かれているスタンプを押印ください。集めたスタンプのポイント(石高)に応じて、ハガキの表面にある賞品欄よりご希望の賞品を選択してください。住所・氏名・年齢・ご連絡先をご記入の上、切手を貼ってポストに投函してください。※スタンプはパンフレットにも忘れずに押印ください。

ポイント数に応じて素敵な賞品をゲット!

★スタンプは各麓のオリジナル12種類、めざせ完全制覇!

七十七万石



●御楼門賞

(1万円相当・いずれか7本)
・鹿児島黒牛サーロインステーキもしくは
・極上麓セット(特産品詰め合わせ)

五十五万石



●唐御門賞

(5千円相当・いずれか12本)
・黒豚角煮まんじゅうもしくは
・特上麓セット(特産品詰め合わせ)

四十万石



●御仮屋門賞

(3千円相当・いずれか15本)
・さつまあげセットもしくは
・麓セット(特産品詰め合わせ)

二十五万石



●武家門賞

(20本)
・かごんまのお茶(上記、いずれか1つ)



●参加賞

(三カ所以上のスタンプ)
・缶バッジ
パンフレットのスタンプ(3個以上)をスタンプ設置場所で見せただくともらえます

■日本遺産とは

各地域の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定し、ストーリーを語る上で欠かせない、魅力ある有形・無形の様々な文化財を総合的に活用し、情報発信を行うことなどにより、地域活性化を図ろうとするものです。

鹿児島県では令和元年5月に「薩摩の武士が生活した町 ～武家屋敷群「麓」を歩く～」が日本遺産に認定されました。鹿児島県では唯一の日本遺産です。鹿児島県、鹿児島市、出水市、垂水市、薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、始良市の1県9市の自治体で構成されています。

■日本遺産「薩摩の武士が生活した町 ～武家屋敷群「麓」を歩く～」の概要

勇猛果敢な薩摩の武士を育んだ地、鹿児島。江戸時代、薩摩藩は外敵からの攻撃に備え、本城である鹿児島城を中心として県内各地に外城(とじょう)を配置し、武士団を住まわせていました。

これは外城制度(とじょうせいど)と呼ばれ、薩摩藩独自の体制でした。

現在、鹿児島市の鹿児島城跡を中心に、外城の中心地である麓(ふもと)と呼ばれる武家屋敷群が県内各地に数多く残されています。

麓は防御に適した場所につくられ、門と玄関の間に生け垣を配置するなど、まるで城のような構造を持っていました。そこでは武士達が心身を鍛え、農耕に従事し、平和な世にありながら武芸の鍛錬に励みました。

本城の鹿児島城跡や外城の武家屋敷群を歩けば、薩摩の武士達の往時の生き様が見えてきます。

鹿児島城跡

(かごしまじょうあと)

スタンプ

鹿児島の外城制度の本城、鹿児島城(通称:鶴丸城)。薩摩藩主・島津氏は鹿児島城を中心に藩内113の外城を設け、島津一門家や重臣の領地である“私領”や島津宗家直轄の“地頭所”を配置し、独自の防衛体制を築きました。立派な石垣と堀に囲まれた本丸跡にある黎明館には、麓の発祥の元となる中世山城や、典型的な麓集落のジオラマや解説があり、日本遺産「薩摩の武士が生活した町」を巡るスタート地点として最適です。

■スタンプ設置場所-鹿児島県歴史・美術センター黎明館(月 休館)
鹿児島市城山町7-2 ☎099-222-5100
※黎明館が休館時は、鹿児島市教育総合センター 鹿児島市山下町6-1 ☎099-227-1962

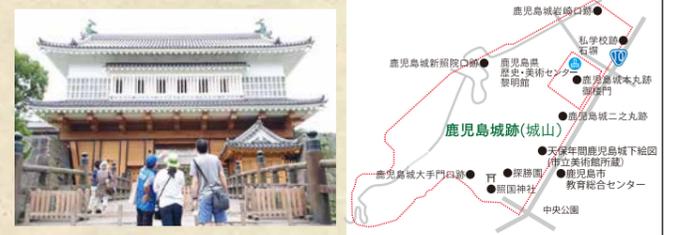
おすすめスポット 日本遺産コースも楽しめる鹿児島のまち歩き

鹿児島の街をガイドが詳しく紹介しながら歩いて楽しめる「鹿児島ぶらりまち歩き」。日本遺産を巡るコースもあり、歩きながら鹿児島のまちに触れあうことができます。
●鹿児島まち歩き観光ステーション(公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会二之丸事務所)
【営業】3/20～8/31(9:00～19:00) 9/1～3/19(9:00～17:30)
【定休日】12/29～1/3
【料金】2名以上500円(高校生以上)1名参加1,000円(高校生以上)小・中学生100円
20名以上は2割引 ☎099-208-4701

入門



三万石



出水麓

(いずみふもと)

スタンプ

出水は肥後藩との境にあり、藩の防衛上、特に重要な拠点の一つでした。江戸時代になると、出水城から続く起伏の多い丘陵地を平らに整地し、そこに道路を格子状に掘り込んで計画的に麓が作られました。出水麓では、武家住宅や玉石を利用した石垣による整然とした区画はもちろん、周辺より一段高い立地や道路と屋敷との高低差など、地形に着目すると麓訪問がより味わい深いものとなります。武家屋敷「税所邸」と「竹添邸」は屋内見学もできます。

■スタンプ設置場所-出水麓歴史館
出水市麓町10-39 ☎0996-68-1390

おすすめスポット 美しい町並みを一日楽しめる着物体験や観光牛車

東京ドーム9個分ともいわれる広さの出水麓を楽しむには観光牛車がおすすめ。美しい町並みを着物姿で散策できる着物体験も人気があります。
●着物体験(浴衣体験) (問)(一社)出水市観光特産品協会
【料金】10,000円 【営業】要事前予約 ☎0996-79-3030
●いずみ観光牛車 (問)ホテルキング ☎0996-62-1511
【料金】大人(中学生以上)1,000円 小学生以下500円 3歳以下無料
【運休】平日及び雨天日 ※平日は4人以上の予約相談

入門



三万石



入来麓

(いりきふもと)

スタンプ

入来麓は中世の清色城跡と蛇行した樋脇川に囲まれた場所に作られた、防御性の高い麓です。中世の曲線的な道沿いの町並みと、近世に拡張整備された格子状の整然とした区画の、2つの対照的な景観が広がっています。鎌倉時代からの伝統を誇る領主・入来院家に伝わる中世以降の豊富な入来文書や、茅葺きによる入来院家の武家門など、入来院家にまつわる歴史にも注目です。

■スタンプ設置場所-入来麓観光案内所
薩摩川内市入来町浦之名35-2 ☎0996-44-5200

おすすめスポット 武家屋敷で武士に変身!?本格的なサムライ体験を

中世からの町並みが残る武家屋敷群で、本格的な甲冑姿や着物姿を体験し、郷土料理を味わうサムライリズムを楽しむことができます。
●サムライ変身体験
【営業】当日受付可 【料金】(大将クラス)3,500円～
●着物着付け体験
【営業】事前予約 【料金】3,500円～
☎0996-44-5200(入来麓観光案内所)

入門



三万石



■最終ページのハガキにも忘れずに押印ください。

知覧麓 (ちらんふもと)

知覧麓には旧街道沿いの両側に石垣、生垣が整然と続き、その間に武家門をもつ武家屋敷が並ぶ、薩摩の典型的な武家屋敷群の形を表しています。武家屋敷の武家門をくぐった正面には防衛のための石積みや生垣などの目隠しがあり、屋敷内には母ヶ岳を借景とする美しく優雅な庭園が造られています。江戸中期の空間にタイムスリップできる、「武家屋敷群」麓を歩く入門編としてお薦めの麓です。

■スタンプ設置場所-知覧武家屋敷庭園内 森庭園
南九州市知覧町郡13731-1 ☎0993-58-7878

おすすめスポット 【国選定・重要伝統的建造物保存地区・保存建物】旧高城家住宅
旧高城家住宅は、明治中頃に建てられた武家住宅で、「おとこ玄関」と「おんな玄関」の二つの玄関があるのが特徴です。二つの屋根をつなぐ形状が、知覧独特のもので「知覧型二ツ家」と呼ばれています。知覧型二ツ家に見られる屋根の美しい造形は、知覧大工の創造力と技術によるものです。昭和に入り失われていた「なかえ」部分は平成6年に復元されました。

スタンプ

入門

三万石



蒲生麓 (かもうふもと)

当時の武士も仰ぎ見た圧倒的な巨木、日本一の大クスに見守られる蒲生麓。天然の堀となる2つの川に挟まれた場所にある市街地に、今も美しく機能的な町割りが残されています。特に武家屋敷通りは石畳により整備され、切石による石垣と生垣の美しい空間を楽しむことができます。また、多くの武家門が残されており、身分の高さを表す石高に応じて明確に門の形が定められているのも蒲生麓の特徴です。

■スタンプ設置場所-蒲生観光交流センター
始良市蒲生町上久徳2308-1 ☎0995-52-0748

おすすめスポット 築120年の古民家カフェ「カフェらびゅう」
武家屋敷通りにあって、唯一内部の見学ができる貴重なスポットになっています。広々とした店内はどこからでも庭園を望むことができ、心から寛くことができます。
●カフェ らびゅう
【住所】始良市蒲生町上久徳2324
【営業】11:00~17:00(フード15:00 LO/デザート・ドリンク16:00 LO)
☎080-2772-5644

スタンプ

初級

六万石



加世田麓 (かせたふもと)

加世田麓は別府城跡と新城跡の二つの山城に挟まれた曲線的な旧街道沿いの細長い平地を中心に広がっており、防衛上有利な地形にある麓です。切石の石垣、イヌマキを中心とする生垣、石垣の前に走る幅2mの用水路、街路と武家門をつなぐ用水路の上にかげられた石橋などから構成される美しい景観が、加世田麓最大の特徴です。用水路沿いにある石造りの洗い場や、先のとがった石垣の角石など、細かい特色も散策の楽しみの一つです。

■スタンプ設置場所-南さつま市観光協会 南さつま市加世田本町34-2 ☎0993-53-3751
旧鯉坂家住宅 南さつま市加世田武田17830-1

おすすめスポット 旧鯉坂医院(登録有形文化財)をレトロなカフェとして活用
昭和初期に建てられた建物を改装し、現在はレトロな外観が目目を惹くカフェとして女性に人気の店となっています。店内には素敵なお土産や器も展示されています。
●ポツン(旧鯉坂医院内)
【住所】南さつま市加世田武田18278-1
【営業】10:00~17:00
【定休日】水曜日 & 不定休 ☎0993-52-7855

スタンプ

初級

六万石



■最終ページのハガキにも忘れずに押印ください。

志布志麓 (しぶしぶもと)

志布志麓は高鍋藩との境にあり、藩の防衛上、特に重要な拠点の一つです。いくつもの台地からなる志布志城跡に挟まれた狭い谷筋に沿って線状に築かれた独特の立地を持ちます。周辺には宝満寺跡や大慈寺など、中世からの古刹もあり、長い歴史を感じさせます。麓の各所には山城の裾からの豊富な湧水があふれています。自然の岩盤を利用した武家門や枯山水庭園など、ダイナミックさもその特徴です。

■スタンプ設置場所-志布志市観光案内所(JR志布志駅舎内)
志布志市志布志町志布志二丁目28-11 ☎099-472-2224
志布志市埋蔵文化財センター
志布志市志布志町安楽41-6 ☎099-472-0140

おすすめスポット 志布志麓の隠れ家的な古民家カフェでひと休み
美容師であるオーナーが地域の景観を守りたいとの一心で古民家を活用し、営業を始めたという「ウラカフェ」。古民家ならではの雰囲気とおいしいランチなどが楽しめます。
●「ウラカフェ」
【住所】志布志市志布志町帖4371
【営業】11:30~16:00 ☎099-401-5430

スタンプ

初級

六万石



喜入旧麓 (きいれもふもと)

江戸時代が始まって間もない1650年代、突然の麓の移転で時が止まってしまった「旧」麓。しかし、幕末までの約250年もの間に刻々とその姿を変えていった他の麓に対し、喜入旧麓では1650年代当時の貴重な麓の原風景を味わうことができます。中世山城跡の裾の曲がくねった街道沿いに作られた石垣、そこに流れる水路、そしてその先に広がる田園風景があなたを約400年前の空間に誘います。

■スタンプ設置場所-喜入公民館(喜入支所内)
鹿児島市喜入町7000 ☎099-345-3751

おすすめスポット 錦江湾を見下ろす高台で獲れたての山幸を召し上げられ
広大な敷地に農産物直売館や農園レストラン、体験用農地、キャンプ場、自然遊歩道、遊具、滞在型市民農園などがあり、農業や食・環境などの体験や学習ができる施設です。
●グリーンファーム(鹿児島市観光農業公園)
【住所】鹿児島市喜入一倉町5809番地97
【営業】(11月~3月)9:00~17:00 / (4月~10月)8:30~18:00
【定休日】12月29日から翌年1月1日 ☎099-345-3337

スタンプ

中級

九万石



里麓 (さとふもと)

中世山城跡の裾にある御飯屋跡。そこを中心に広がる武家屋敷群。里麓は本土の麓と構成は同じながら、海に面しており海路の往來を監視するという役割が大きく異なります。外観では、近くの浜で採れる大きな玉石による石垣や、武家門の見られない武家屋敷群など、素朴なたたずまいが特徴です。中世山城跡で、展望所が整備されている亀城跡から武家屋敷群を眺めるのもおすすめです。

■スタンプ設置場所-上甕島観光案内所(里港ターミナル内)
薩摩川内市里町里1619-13 ☎09969-6-3930

おすすめスポット 通りの散策に疲れたら集落内のオアシスでひと休み
玉石垣の美しい武家屋敷群から徒歩3分。風味豊かなうぶを作っているお店。ゆったりとした島時間の流れる空間で、島の焼酎や珈琲も味わえます。
●山下商店(甕島本店)
【住所】薩摩川内市里町里54番地
【営業】(月~金)8:30~12:00 / 15:00~18:00
(土、日)9:00~12:00 / 14:00~17:00
【定休日】不定休 ☎09969-3-2212

スタンプ

中級

九万石



■最終ページのハガキにも忘れずに押印ください。

手打麓 (てうちふもと)

中級

九万石

スタンプ



手打麓は手打湾に沿って湾曲した麓で、本土の麓と異なり海に臨む立地が特徴です。本土の麓が道路を行き来する人々を監視するのに対し、甌島の麓が“海路”を行き来する人々を監視対象としていたことを、海の近くに設けられた津口番所跡が物語っています。近くの浜で採れる大きな玉石による石垣や、南国の花や樹木で形成された生垣など、独特の風合いの町並みを海風とともに歩いてみてください。

■スタンプ設置場所-下甌島観光案内所(長浜港ターミナル内)
薩摩川内市下甌町長浜913-4 ☎09969-5-1800

おすすめスポット 経験豊富な料理人がおもてなし

手打漁港近くに位置するお食事処。県外で経験を積んだ料理人が地元で腕を振ります。ランチタイムには各種定食メニューを提供します。

- てうちん浜や
- 【住所】薩摩川内市下甌町手打61
- 【営業】ランチ:11:00~14:00 夜は要予約 【定休日】月曜日
- ☎09969-7-0005

垂水麓 (たるみずふもと)

中級

九万石

スタンプ



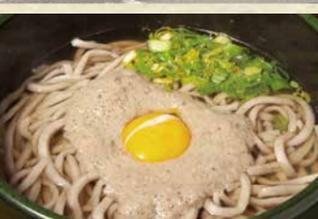
垂水麓は日本遺産の12の麓の中で唯一、島津一家(垂水島津家)による格式の高い麓で、現在垂水小学校となっている林之城跡を中心に、広大な範囲で整然とした格子状の区画が広がっています。麓の場所がそのまま市街地として発展しているため、一見そこが麓であることが分かりにくくなっていますが、凝灰岩で作られた石垣による整然とした区画が当時の広大な麓を物語っています。

■スタンプ設置場所-
垂水市立図書館(月 休館) 垂水市南松原町38番地 ☎0994-32-7111
垂水市民館 垂水市旭町61-2 ☎0994-32-0224

おすすめスポット 垂水島津家の麓で味わう昔ながらの田舎そば

「十五郎そば」は、垂水で創業300年を超えるという老舗の蕎麦屋。十割のそば粉と山芋のみで打った鹿児島独自の太くて短い麺が田舎そばの特徴です。

- 十五郎そば
- 【住所】垂水市本町7
- 【営業】10:30~17:00 【定休日】木曜日
- 営業時間・定休日は変更となる場合がありますので事前にご確認ください。
- ☎0994-32-0264



串木野麓 (くしきのふもと)

上級

十一万石

スタンプ



串木野麓は中世の串木野城を中心に広がっていた麓です。周辺開発が進み、麓の面影は断片的ではありますが、古地図と残された地名で解読可能です。串木野城は歴史上名高い戦国武将ゆかりの城でもあり、また、城周辺には曲輪を利用した神社や立派な武家住宅など、江戸時代の景観が凝縮されています。日本遺産の麓巡りを締めくくる最後の1ピースとして、ぜひあなたの實力をお試ください。

■スタンプ設置場所-
いちき串木野市総合観光案内所 いちき串木野市上名3018 ☎0996-32-5256
薩摩金山蔵 いちき串木野市野下13665 ☎0996-21-2110

おすすめスポット 360余年の間掘り続けられた総延長120kmの金山坑洞

薩摩藩の栄華を支えた串木野金山で、坑洞を利用した独自の焼酎造りが行われています。トロッコ列車に乗って坑洞内の焼酎蔵を間近に見学することができます。

- 焼酎蔵 薩摩金山蔵
- 【住所】いちき串木野市野下13665
- 【営業】10:00~17:00 【定休日】火曜日
- 【料金】無料(金山坑洞内の焼酎蔵見学は大人720円)
- ☎0996-21-2110



薩摩十二麓

日本遺産「薩摩の武士がきた町」をめぐるスタンプラリー

鹿児島県内の「十二の麓」をめぐるスタンプラリーです。それぞれの麓は入門、初級、中級、上級に分かれていて、スタンプを押すことで入門は三万石、初級は六万石、中級は九万石、上級は十一万石が手に入ります。すべての麓を制覇すれば、薩摩藩「七十七万石」と同じ「七十七万石」が集まります。このチャンスに「七十七万石」を目指して十二の麓を制覇し、豪華賞品を入手してください!

攻略!
麓スポットは
全部で12箇所

応募締切/2021年10月31日(当日消印有効)
当選発表/2021年12月31日までの賞品発送をもって
発表に代えさせていただきます。

1. 二十五万石から応募可能!
2. 石高に応じて賞品がレベルアップ!
3. 応募は切手を貼ってポストへ投函。

※スタンプは各施設の営業時間内に限り押印できます。
営業時間外や休業日は押印できません。



【日本遺産】
薩摩の武士がきた町
~武家屋敷群「麓」を歩く~
マップ

御楼門賞 七十七万石 (1万円相当・いずれか7本) A.鹿児島黒牛サーロインステーキ B.極上麓セット (特産品詰め合わせ)

唐獅子門賞 五十五万石 (5千円相当・いずれか12本) A.黒豚角煮まんじゅう B.特上麓セット (特産品詰め合わせ)

御反壘門賞 四十万石 (3千円相当・いずれか15本) A.さつまあげセット B.麓セット (特産品詰め合わせ)

武家門賞 二十五万石 (20本) かごんまのお茶

参加賞 (三か所以上のスタンプ) 缶バッジ パンフレットのスタンプをスタンプ設置場所でお見せいただくともらえます

さらにWチャンス!
【だれやめ賞】
・焼酎セット
・サイダーセット
各3本

缶バッジ
受取印

薩摩十二麓 ~すべての麓を制覇せよ2021~
目指せ七十七万石!スタンプラリー
応募締切/2021年10月31日(当日消印有効)
当選発表/2021年12月31日までの賞品発送をもって発表に代えさせていただきます。

入門 三万石 鹿児島城跡	入門 三万石 出水麓	入門 三万石 入来麓
入門 三万石 知覧麓	初級 六万石 蒲生麓	初級 六万石 加世田麓
初級 六万石 志布志麓	中級 九万石 喜入旧麓	中級 九万石 里麓
中級 九万石 手打麓	中級 九万石 垂水麓	上級 十一万石 串木野麓